

内村鑑三記念キリスト教講演会

内村鑑三が召されて 95 年。第 2 次世界大戦後 80 年、国連を含む国際社会はプーチン大統領のロシアによるウクライナ戦争やネタニヤフ首相のイスラエルによるパレスチナ攻撃を止められず、アメリカのトランプ大統領に見られる「自国ファースト」が潮流となり、分断と対立が露わになってきています。目を転じて、我が国は「敗戦」によってもたらされた日本国憲法の理想を放棄して、アメリカと共に戦争ができる国になろうとしています。

他方、人類が生存する地球環境の悪化は急速に進み、AI による人間支配の危機もささやかれる現代、私たちはいかに考え生くべきか、根源的な問いの前に立たされています。イエス・キリストの父なる神によって立てられた、近代日本の「預言者」「福音の使徒」なる

内村鑑三を記念し、おふたりの講師を迎え、語られる講演から共に学びたいと思います。現代を憂い希望の光を求めている皆様の参加を歓迎いたします。

司会 渋谷聖書集会 森山 浩二

【講演】 「内村鑑三研究は（今）何のために役立つか」

立教大学文学部教授 ゾンターク・ミラ

「一キリスト者弁護士の歩み」

水戸無教会聖書集会・弁護士 萩野谷 興

【日時】 2026 年 3 月 22 日（日）午後 2 時（受付開始 1 時 30 分）

* 講演終了後に「講師を囲む懇談会」を持ちます。自由参加 午後 5 時～5 時 30 分

【会費】 1,000 円（学生 500 円） * 申し込みはオンライン参加の場合のみ必要

【場所】 今井館聖書講堂（右図参照）

【主催】

内村鑑三記念キリスト教講演会運営委員会

【問い合わせ】

電話：NPO 法人今井館教友会 03(6277)5669
（担当：小林）

メール：uchimurakinen-2025@yahoo.co.jp
（担当：宮崎）

【オンライン参加方法】

お名前・ご住所・電話番号・メールアドレスをご記入の上、2 月末日までに上記問い合わせ先にメールにてお申し込み下さい。会費の振り込み方法等、折り返しのメールにてご連絡いたします。

